

## 日本クラブバレーボール連盟理事会議事録要旨

日時 平成24年2月25日(土)  
午後1時30分～4時30分  
場所 チサンホテル心齋橋会議室

### 会 議 次 第

- 1、開会 あいさつ 橋爪副会長
- 2、理事会成立の確認  
出席理事数25名、委任状提出理事数4名であり、連盟規約第29条により理事会が成立していることを福嶋総務委員長から報告  
また、議事録署名人に斎藤常任理事・仮屋理事を選出、中川会長が公務の為、橋爪副会長が議長となり議題について審議
- 3、議題
  - (1) 第1号議案  
平成23年度日本クラブバレーボール連盟事業報告(案)について  
田中理事長から、冊子2～5ページに基づき説明。続いて専門委員会の事業について福嶋総務委員長、坂田競技委員長、大橋指導普及委員長から説明。各ブロックの活動について各ブロック長から、冊子37～45ページに基づき説明、原案どおり承認
  - (2) 第2号議案  
東日本大震災義援金支出及び平成23年度日本クラブバレーボール連盟予算執行状況について  
田中理事長から被災地4県(岩手県・宮城県・福島県・茨城県)に各3万円ずつの義援金を支出および本日(25日)、明日(26日)の役員日当を義援金に充てることについて説明、提案どおり承認  
予算執行状況について、田中理事長から冊子6・7ページに基づき説明。会計年度3月末をもって決算し、監事監査を受け、後日文書報告することを含め原案どおり承認
  - (3) 第3号議案  
平成24年度日本クラブバレーボール連盟事業計画(案)について  
田中理事長から、冊子8～10ページに基づき説明。続いて坂田競技委員長から冊子46～53ページの補足説明。冊子47ページ(26年度以降の実施予定は白紙)・48ページ(女子6人制・9人制の合計62チーム)・51ページ(開催要項14、その他(3)の文面後日修正し、ホームページ等でアップする)ページの訂正説

明。大橋指導普及委員長から、冊子54～56ページの補足説明、原案どおり承認

(4) 第4号議案

平成24年度日本クラブバレーボール連盟予算(案)について

田中理事長から、冊子11ページに基づき説明。平成23年度決算を踏まえ、繰越額等を修正した上で、後日文書報告することで、原案どおり承認

(5) 第5号議案

日本クラブバレーボール連盟被表彰者の推薦(案)について

田中理事長から、冊子12ページに基づき説明。四国バレーボール連盟推薦の南部雅昭氏を表彰者したい旨報告、原案どおり承認

(6) 第6号議案

連盟ロゴピンバッチの制作(案)について

田中理事長から、冊子12ページに基づき説明。帰属意識の高揚を目指す事および販売額の一部を東日本大震災復興支援(直接被災地の県クラブ連盟へ届ける義援金)に充て、連盟ロゴマーク入り会員ロゴピンバッチの製作及び販売(一般会計とは別事業)したい旨報告、原案どおり承認

(7) 第7号議案

他連盟との連携に向けた特別委員会の設置について

田中理事長から、冊子12・13ページに基づき説明、原案どおり承認

(8) 第8号議案

その他

公益財団法人日本バレーボール協会の功労者1表彰及び功労団体表彰の候補者・団体の推薦者依頼について

田中理事長から、冊子64～69ページに基づき説明。該当候補者などの意見を求め、小比賀監事から(株)デサント推薦してはどうかとの意見、日本協会やデサント様とも今後調整することを報告

#### 4、報告事項

(1) 公益財団法人日本バレーボール協会から

田中理事長から「故松平康隆名誉顧問お別れ会」の案内について(冊子60ページ)。連盟としては、会長名と理事長名で供花をする旨報告。JVANET(冊子61～63ページ)及び役員候補者推薦規程(冊子68・69ページ)並びに2012年度版ルールブック販売・販売方法の変更について(冊子70～72ページ)報告。

平成24年度公益財団法人日本体育協会公認バレーボールコーチ講習会開催関係の案内(冊子73～76ページ)について説明。また、2月21日に開催された黒鷲旗のチーム選考委員会においてクラブカップ優勝チームを推薦したが、残念ながら出場枠に入らなかった旨報告。

(2) 役員登録(理事・専門委員・評議員)手続きについて

福嶋総務委員長から、冊子77ページに基づき説明及び申請依頼

(3) 各ブロック課題別研修会の統一テーマについて

田中理事長から「チーム、選手数の増員拡大について」と「財政の安定化に向けてについて」の2項目を取り扱うよう依頼

(4) その他

・被災地への継続支援について

田中理事長から本年度も被災地支援を継続したい旨協力要請。クラブカップ予選会、本選会場等において引き続き募金活動を実施して欲しい旨説明

・その他 質問、意見特になし。

5、閉会あいさつ

綱村副会長

議事録署名人

齋藤 賢

飯屋喜一郎

## 日本クラブバレーボール連盟評議員会議事録要旨

日時 平成24年2月26日(日)

午前9時～11時

場所 チサンホテル心齋橋会議室

### 会議次第

- 1、開会あいさつ 中川会長
- 2、評議員会成立の確認  
出席者27名、委任状の提出20名、連盟規約第26条により評議員会が成立していることを福嶋総務委員長から報告  
また、議長に西川評議員(滋賀県)を、議事録署名人に加藤評議員(岩手県)・根岸評議員(福岡県)を選出し、議題について審議
- 3、議題
  - (1) 第1号議案  
平成23年度日本クラブバレーボール連盟事業報告(案)について  
田中理事長から、冊子2～5ページに基づき説明、原案どおり承認
  - (2) 第2号議案  
東日本大震災義援金支出及び平成23年度日本クラブバレーボール連盟予算執行状況について  
田中理事長から被災地4県(岩手県・宮城県・福島県・茨城県)に各3万円ずつの義援金を支出および本日(25日)、明日(26日)の役員日当を義援金に充てることについて説明、提案どおり承認  
樋口総務副委員長(会計担当)から予算執行状況について、冊子6・7ページに基づき説明。会計年度3月末をもって決算し、監事監査を受け、後日文書報告することを含め原案どおり承認
  - (3) 第3号議案  
平成24年度日本クラブバレーボール連盟事業計画(案)について  
田中理事長から、冊子8～10ページに基づき全体説明。特に、加盟チーム及び連盟関係者の登録数増への依頼、財政基盤の確立の観点から本年度は役員日当の凍結、ブロック課題別研修費の減額等説明。続いて坂田競技委員長から冊子46～53ページに基づき説明。冊子47ページ(26年度以降の実施予定は白紙)・48ページ(女子6人制・9人制の合計62チーム)・51ページ(開催要項14、その他(3)の文面後日修正し、ホームページ等でアップする)ページの訂正説明。大橋指導普及委員長から、冊子54～56ページに基づき説明。福嶋総務委員長から、理事長

等研修会・ブロック課題別研修会を継続実施・新たな事業（取り組み）を検討・ホームページを更に充実させる旨などの説明。田中理事長から、理事長等研修会は継続する場合、研修に伴う宿泊費・懇親会費について、都道府県負担が可能かどうか検討を依頼し、原案どおり承認

(4) 第4号議案

平成24年度日本クラブバレーボール連盟予算（案）について

樋口総務副委員長から、冊子11ページに基づき説明。平成23年度決算を踏まえ、繰越額等を修正した上で、後日文書報告する旨説明及び支出の事業費(1,477,668)・予備費(295,887)の金額修正

質疑応答

- ・平成23年度予算の事業費が前年度決算見込み額に比べ、かなり低くなっているがその差額は何か。樋口総務副委員長から、ブロック別課題研修の補助金減額（100,000円→30,000円）都道府県理事長研修会費（300,000円→50,000円）の減額による差額である。
- ・役員日当の凍結ということであるが、専門委員会費の予算額は前年度決算額とほぼ変わらない額であるが、日当は取りあえず含まれているか。田中理事長から予算書は日当を除いた役員出席実績の100パーセントの予算を計上している。

予算案は、原案どおり承認

(5) 第5号議案

日本クラブバレーボール連盟被表彰者の推薦について

田中理事長から、冊子12ページに基づき、四国バレーボール連盟推薦の南部雅昭（なんぶ まさひろ）氏を表彰者することを理事会で決定した旨報告

(6) 第6号議案

連盟ロゴピンバッジの制作（案）について

田中理事長から、冊子12ページに基づき説明。帰属意識の高揚を目指す事および販売額の一部を東日本大震災復興支援（直接被災地の県クラブ連盟へ届ける義援金）に充て、連盟ロゴマーク入り会員ロゴピンバッジの製作及び販売（一般会計とは別事業）したい旨報告、原案どおり承認

(7) 第7号議案

他連盟との連携に向けた特別委員会の設置について

田中理事長から、冊子12・13ページに基づき説明、原案どおり承認

(8) 第8号議案

その他 特になし

4、報告事項

(1) 公益財団法人日本バレーボール協会から

田中理事長から「故松平康隆名誉顧問お別れ会」の案内について（冊子60ページ）。

連盟としては、会長名と理事長名で供花をする旨報告。JVANET（冊子61～63ページ）及び役員候補者推薦規程（冊子68・69ページ）並びに2012年度版ルールブック販売・販売方法の変更について（冊子70～72ページ）報告。

平成24年度公益財団法人日本体育協会公認バレーボールコーチ講習会開催関係の案内（冊子73～76ページ）について説明。また、2月21日に開催された黒鷲旗のチーム選考委員会においてクラブカップ優勝チームを推薦したが、残念ながら出場枠に入らなかった旨報告。

(2) 役員登録〈理事・専門委員・評議員〉手続きについて

福嶋総務委員長から、冊子77ページに基づき説明及び申請依頼

(3) 各ブロック課題別研修会の統一テーマについて

田中理事長から「チーム、選手数の増員拡大について」と「財政の安定化に向けてについて」の2項目を取り扱うよう依頼

(4) その他

・被災地への継続支援について

田中理事長から本年度も被災地支援を継続したい旨協力要請。クラブカップ予選会、本選会場等において募金活動の実施して欲しい旨説明。また、ピンバッチ販売の一部を義援金に当てることを報告。

義援金の入金口座は、冊子78ページ(文面24年度及び事務局電話番号06-6653-7654に訂正)の一般会計口座ではなく、義援金専用口座に送金ください。口座等は、後日ご案内する旨報告

・その他 特になし

※日本クラブバレーボール連盟会長表彰

中川会長から、南部雅昭（なんぶ まさひろ）氏への表彰を行なった。

5、閉会あいさつ

白石副会長

議事録署名人

根岸茂幸

平成23年度日本クラブパレーボール連盟収支決算書

○ 収支総括表

項目	金額	摘要
収入総額	7,222,710	
支出総額	6,312,999	
差引残額	909,711	

○ 収入の部

(単位:円)

項目	当初予算額	決算額	予算超額	摘要
配賦金	4,500,000	3,862,461	-637,539	日本協会からの配賦金
繰越金	1,949,914	1,949,914	0	
加盟金	1,410,000	1,410,000	0	47都府県×30,000円
雑収入	1,000	335	-665	銀行利息
計	7,860,914	7,222,710	-638,204	

○ 支出の部

(単位:円)

項目	当初予算額	決算額	予算残額	摘要
旅費交通費	1,600,000	1,568,720	31,280	常任理事会・理事会旅費
役員派遣費	200,000	164,420	35,580	クラブカップ・社会人大会派遣旅費
事業費	2,500,000	1,428,668	1,071,332	ブロック講習・研修会費 (都道府県理事長研修会、ブロック課題研修会、 ブロック審判研修会、指導者資格取得講習会)
専門委員会費	1,600,000	1,641,586	-41,586	各種専門委員会 (総務委員会、審判規則委員会、 競技委員会、指導普及委員会)
会議費	160,000	236,192	-76,192	会場費・飲食費
通信運搬費	50,000	7,620	42,380	郵券代金等
消耗品費	50,000	18,997	31,003	事務用品等
印刷製本費	500,000	479,266	20,734	各種資料等印刷代金
委託費	264,000	316,500	-52,500	連盟サーバー維持管理・HP更新費等
報償費	180,000	151,400	28,600	大会表彰関連費用
雑費	100,000	199,630	-99,630	振込手数料・慶弔費・義援金等
分担金	30,000	0	30,000	日本協会評議員分担金
積立金	200,000	100,000	100,000	周年事業等積立金
予備費	426,914	909,711	-482,797	
計	7,860,914	7,222,710	638,204	

○ 特別会計の部

連盟周年事業等積立金

151,081円

【内訳】 51,081円

平成22年度末積立金残高

100,000円

平成23年度積立金

平成24年4月14日

上に記載のとおり報告いたします。

総務副委員長 (会計担当)

樋口 浩明



平成24年4月25日

監事監査の結果、上の収支決算書の記載内容に相違がなかったことを報告いたします。

監事 小比賀 忠和

監事 粥川 昌



## 平成24年度日本クラブバレーボール連盟収支予算書

### ○ 収入の部

(単位:円)

項 目	平成24年度 予算額	平成23年度 決算額	摘 要
配 賦 金	3,700,000	3,862,461	日本協会からの配賦金
繰 越 金	909,711	1,949,914	
加 盟 金	1,410,000	1,410,000	47都府県×30,000円
雑 収 入	100	335	銀行利息
計	6,019,811	7,222,710	

### ○ 支出の部

(単位:円)

項 目	平成24年度 予算額	平成23年度 決算額	摘 要
旅費交通費	1,500,000	1,568,720	常任理事会・理事会等旅費
役員派遣費	0	164,420	クラブカップ・社会人大会派遣旅費
事 業 費	950,000	1,428,668	各種事業経費 (都道府県理事長研修会 200,000円 ブロック課題研修会 450,000円 指導者資格取得講習会 300,000円)
専門委員会費	1,600,000	1,641,586	各種専門委員会 (総務委員会、審判規則委員会、 競技委員会、指導普及委員会)
会 議 費	250,000	236,192	会場費・飲食費
通信運搬費	20,000	7,620	郵券代金等
消耗品費	30,000	18,997	事務用品等
印刷製本費	500,000	479,266	各種資料等印刷代金
委 託 費	264,000	316,500	連盟サーバー維持管理費等
報 償 費	160,000	151,400	大会表彰関連費用
雑 費	100,000	199,630	振込手数料・慶弔費等
積 立 金	100,000	100,000	周年事業等積立金
予 備 費	545,811	909,711	
計	6,019,811	7,222,710	

### ○ 特別会計の部

#### 連盟周年事業等積立金

251,081円

前年度までの積立金残高

151,081円

平成24年度積立金額

100,000円

平成23年度 日本クラブバレーボール連盟対象  
財団法人 日本体育協会 公認 バレーボール指導員  
(専門科目)資格取得講習会  
決 算 書

日本クラブバレーボール連盟


収入の部			支出の部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
講習会補助金(JCVF)	480,000	227,668	会場使用料	80,000	58,400
講習会参加料	270,000	338,000	講習会役員費	260,000	184,120
雑収入	0	0	講習会役員費(地元)	110,000	73,120
			食糧費	50,000	42,000
			講習会謝金	150,000	150,000
			会議費	10,000	0
			印刷費	30,000	34,178
			消耗品	30,000	0
			通信費	20,000	7,480
			雑費	10,000	16,370
合 計	750,000	565,668	合 計	750,000	565,668


平成23年度日本クラブバレーボール連盟収支決算に関する  
監事監査の結果について

本連盟規約第7章第36条に基づき、監事監査を実施しましたので、以下のとおりその結果を報告します。

- 1 収支決算書及び諸票・帳簿等を監査したところ、適正かつ公正に処理されていることを認めます。
- 2 収入及び支出の内容は事実と相違なきことを認めます。
- 3 総括的にみて、諸票の保存及び記録についても極めて明確であり、処理区分についても正確に行われていることを認めます。
- 4 次年度繰越金については、りそな銀行大手支店 普通預金口座  
口座番号 6373483 口座名義 日本クラブバレーボール連盟  
経理担当 樋口浩明 に残高が記帳され、適正に管理保管されていることを認めます。

平成24年4月25日

監 事 小比賀 忠祐 

監 事 新川 昌 

## 日本クラブバレーボール連盟役員・評議員及び各都道府県理事長等研修会まとめ

### 開催要項

- (1) 趣 旨 本連盟役員・評議員及び都道府県連盟理事長等が一堂に会し、当面する課題とその解決方策についての共通理解を図り、連盟のさらなる発展・充実に資することを目的とする。
- (2) 期 間 平成24年2月25日(土) 午後5時から  
平成24年2月26日(日) 午後3時まで
- (3) 会 場 チサンホテル心斎橋2階会議室  
〒542-0081 大阪府中央区南船場2-4-10  
TEL 06-6263-1511
- (4) 対象者 本連盟役員・評議員及び都道府県連盟理事長または競技・審判・指導普及委員長等の主要役員
- (5) 経 費 交通費は、各都道府県連盟負担とする。ただし、2月25日(土)のチサンホテル心斎橋の宿泊等については、当連盟が負担する。

### まとめ

上記の趣旨のもと『チーム、選手数の増員拡大について』『財政の安定化に向けてについて』および『次年度の研修会のあり方について』以上のテーマについて6グループに分けて討議をし、それぞれの内容を提出していただいた内容を原文基本に以下にまとめました。

#### 『チーム、選手数の増員拡大について』

- ・大学、高校に対して継続してバレーボールを続けてもらうようお願いをしていく。
- ・入口の拡大 (MRS の登録に関して)
- ・ネックになっている項目  
お金がかかる・しぼりが多い・コーチ資格の有無・ユニホーム **2件**  
MRS 登録 (個人登録) の負担・見直し **5件**  
MRS 個人登録の見直し  
レベルにより登録料を変える  
登録種別 (MRS 登録→全国大会 県連盟登録→ブロック大会)
- ・未登録チームの確保  
各県において未登録チームはかなり多いが、MRS 登録の問題、レベルの問題、運営資金の問題が障害になりなかなか前に進まないのが現状。
- ・現状では増員拡大より現状維持が精一杯である。
- ・各種案内を掲示する。  
情報を発信、更新、質問に回答をしやすくする
- ・ブロック大会を利用して大会を増やす。
- ・大会のフリー出場、(未登録チーム) オープン大会の開催 **7件**
- ・クラブ連登録のメリットを感じる大会を増やす。
- ・ソフトバレーとの連携
- ・実連との連携による強化リーグおよび対戦機会の増加
- ・大学、高校との交流試合、アピール **2件**
- ・本来は登録に向けて連盟サイドからのアプローチが必要であるが、年間の県への登録、クラブ連また他 MRS 登録などのお金がかかることばかりで言いづらい現状がある。  
複数の団体に加盟料および個人登録料が必要
- ・拡大とは名目で MRS 導入からはどの都道府県すべてが減少しているのが現状。  
(北海道は180→100チームになりここまでの予想はしていなかった
- ・減少を止めるには「オープン参加」大会を増やす。

- ・ミックスバレーをクラブ連に（登録制度を導入すれば同じ結果） **4件**
- ・クラブチームとはを根本から再度考える必要。上につながる大会ではしほりが必要だが今は草の根チームを少しでも確保し大会に出場してもらうことが必要。
- ・地域の大会に楽しく参加できればよいというチームが多いため未登録チームの参加を認める大会を作る。
- ・地区協会との連携・強化を図る
- ・小中高の決勝大会にクラブ連も出場して見てもらう。
- ・ローカルな活動（小中高との連携）
- ・県単位でリーグ戦を行う。
- ・上位を目指さないチームにとって MRS 個人登録は必要がない。
- ・選手が他県のチームに登録するケースがある。
- ・県が広い参加がないチームがあり、会場も少ない地域がある。
- ・クラブ連主催大会の開催。  
大学 VS クラブ 中学 VS 高校 VS クラブ→学生に将来の活動場所の周知
- ・アンケートした結果チームを面倒見る人材・指導者がいないとチームは誕生しない。
- ・クラブの認知度を広める（Vリーグ等動員大会にて）広告ビラ配布

#### 『財政の安定化に向けてについて』

- ・連盟自体がエコになる。ホームページを利用して配布物を無くす。
- ・MRS 還付金についての見直し（還付される時期について） **2件**
- ・MRS 登録の配賦金のあり方を日ク連主導で行っていただきたい。 **3件**
- ・オープン大会等 MRS 登録に関係なく出場できる大会を開催し登録予備軍を作り大会等で財源を確保する

#### 『次年度の研修会のあり方について』

- ・近年、このような真剣な討議のできる機会が少ないので連盟として予算をつけてほしい。
- ・研修会が意義のある会であれば継続していただきたい、個人負担が伴ってもよい。
- ・出席している役員の活発な発言が出る会にしていただきたい。
- ・研修会の自己負担はやむ得ない。 **6件**
- ・研修会の意義の再検討  
参考となる都道府県のの発表  
2日目は午前中で終了していただきたい。
- ・研修会は賛成だが費用は現状
- ・予算がないのであれば仕方がないが、予算に応じたことをするしかない。  
研修会自体は必要である。
- ・評議委員会、情報交換会、研修会を1日（日曜日）で行う。